

道路の維持管理について



日本の将来について、「お金を切り日本は向上心の持てない、みじめたらしい国になって来ている」と、嘆いている大臣がいるが、本町においても道々幕別線の維持の悪さは、旅人にとって道路の草刈りも十分に出来ない貧しい町を通過したとの印象の悪い部分だけが残る。対策なしでは悲しく痛ましい事故が必ず発生する。

①道路の管理者に対して、町は北海道に管理精度を高めるよう強く求めるだけでなく、先を読んだ財源付きの権限移譲を求めるべきである。既に空知の2町で試験的な形で町道と道々の一貫管理がなされているが、住民の為に町は積極的に取り組むべきである。特に最近の駒島の農と食の観光地がテレビ放送され往来が3倍になっている。地域の環境も含めて食べて味わってもらう民の熱意

を官が邪魔をしているのではないかと。②農村部の敏速確実な維持管理を行うためには、現状の市街地を起点とした体制では、初動の判断や障害除去の敏速な対応に欠ける。

また、道々と町道の一貫した維持をしなければ子供達の通学路や保育所の給食供給が安全安心な形で確保できない。その対策として幕別のヘソに当たる糠内に、4台の除排雪機材等の駐留所を設ける考えはないか伺う。

町長

道路の維持管理

は、道路法により高速自動車国道、一般国道、都道府県道、市町村道という種類区分に応じ、国と地方の間で整備、管理の役割分担がされている。

幕別大樹線は、帯広土木現業所が管理する道路であり、道路管理者自らのパトロールのほか、地域の要望

や町から要請などにより維持管理や再整備が行なわれている。

なお、合併後の平成18年度から糠内中里間、約2・6キロメートルの拡幅整備のほか、昨年から2カ年にわたり軍岡地区の約2・4キロメートルの歩道の再整備を実施している。

①道路の維持管理者に求めることについては、北海道においては危機的な財政状況にある中、財政立て直しプランのもと経費節減を図っており、数年前から路肩の草刈については全道的に年1回の実施と定めていると伺っているが、交通安全の確保が必要な部分については、さらに要望を行いたいと考えている。

都道府県道の維持管理に関する権限委譲については、地方分権改革推進委員会において検討されており、昨年11月の同委員会の中間的な取りまとめにおいて、面的な管理の観点から、地域において市町村道と一体として管理することが効率的な都道府県道の管理権限については市町村に委譲すべきであると述べられている。

また、本年5月の一次勧告においても、町村について、その道路管理の状況等も踏まえ、都道府県道の管理を行うことができるようにしているが、現時点では、国の出先機関の見直しが行われており、今後、市町村への権限委譲についての詳細な説明があるものと思っている。

②除排雪体制は、委託及び借り上げ機械により幕別市街地区7台、札内市街地区17台、農村部11台、忠類地域7台の体制により冬道の安全確保に努めている。

それぞれの地域での駐留所は、その地域ごとの事業所からの初動となっており、さらに昨年の冬から、忠類地域に駒島、美川、中里の一部を含めた体制への見直しを行い、迅速な対応ができるものと考えている。

仮に糠内地域に駐留所を配置すると、除排雪機械の駐留施設やオペレーター待機施設などの整備が必要なことや、現状の駐留所体制においても大きなトラブル等もなく稼働しており、現時点においては、糠内に除排雪機材駐留所を設置する考えは持っていない。



雑草の生えた道道幕別大樹線